

年	組	名前
---	---	----

相手陣地内にある筒を奪う生徒ら＝九重町のこのえ緑陽中



楽しんで 体力向上

スポーツ鬼ごっこ

「鬼ごっこ」で体力づくり。九重町のこのえ緑陽中学校（浜田淳校長）は、楽しみながら生徒の体力向上を図ろうと、スポーツ活動に鬼ごっこを取り入れている。町内四つの学校を統合して今春に開校したばかりのため、生徒間の交流が深まることにも期待している。

このえ緑陽中が導入

このえ緑陽中学校が取り入れているのは、鬼ごっこ協会（東京都）がルール化した「スポーツ鬼ごっこ」。長方形のコートを半分に分け、各陣には筒が置かれており、敵チームに奪われないように防御する。敵陣の筒を奪えば点が入る。攻守のバランスをうまく取らないと負けてしまう。県教委は本年度から、一つの学校が一つのスポーツに力

ゲーム感覚 交流深まる

を入れる事業をスタート。同中学校は「緻密な戦術が必要のため、コミュニケーション能力が高まる」として、県内で唯一、鬼ごっこを選んだ。町内では、2011年から小学校の授業に導入されている。ゲーム感覚で楽しめるため、児童に人気がある。攻守のいずれも全力で走るため運動量は多いという。

同中学校で第1回鬼ごっこ大会があり、全校生徒223人が参加した。保健部や図書部など、上級生と下級生が交じる専門部ごとにチームを編成。生徒はコート中を駆け回り、筒を奪うと大きな歓声が上がった。



1年の安部航太君（12）「顔写真」は「小学生の時の大会では敵だった相手がチームメイトになって楽しかった。みんなが活躍できるスポーツなので面白い」と話した。

(2013年7月17日朝刊13面)

九重町のこのえ緑陽中学校は、楽しみながら生徒の体力向上を図ろうと、スポーツ活動に鬼ごっこを取り入れています。

①この中学で鬼ごっこを取り入れたのは、体力向上のほかに、何を期待してのことでしょう。

.....

.....

.....

.....

②「スポーツ鬼ごっこ」のルールはどんなものでしょう。記事から読み取り、追加調べをしてみよう。絵に描いて説明してみよう。

.....

.....

.....

.....

③自分たちの学校で取り組みたい「一つのスポーツ」は何ですか。話し合ってみよう。

.....

.....

.....

.....